

神戸新聞 NEXT 2021.11.24

夜の河川敷にアートな映像 12月10～19日、加古川左岸



デジタル映像を河川敷に投影する「加古川リバーライト」のイメージ（加古川市提供）

加古川の流れや加古川市の伝統産業「国包（くにかね）建具」をモチーフにした映像を、夜の河川敷に投影する催し「加古川リバーライト」が12月10～19日、同川を渡るJR神戸線鉄橋付近の左岸側で開かれる。立体物に映像を映し出すプロジェクションマッピングの技術を駆使。約10メートル四方の立方体や全長100メートル級の地面を、デジタルアートが彩る。

同市の主催。毎年夏の「加古川まつり花火大会」が東京五輪の影響による警備員不足、新型コロナウイルス感染拡大を理由に2年続けて中止になった。密集が心配されるイベントが次々と見送られる中、市民らが楽しめる機会をつくろうと初めて企画した。

映し出されるのは、水の波紋や流れ、木材をパズルのように組んだ国包建具のデザイン、中止になった打ち上げ花火などから着想した映像。作品の中や間近で鑑賞できる。

午後6～9時。入場無料、事前の申し込みは不要だが、会場に駐車場は設けない。作品の画像を写真共有アプリ「インスタグラム」に投稿するか、アンケートに回答すると、抽選で同市の特産品（5千円相当）が当たるキャンペーンも実施する。市観光振興課TEL079・424・2190

（若林幹夫）

<https://www.kakogawa-river-light.info/>

加古川発 光の祭典

地域最大級  
プロジェクションマッピング  
& ライトアップイベント

無入場  
無料

〈デジタルアート・リバーサイド〉

# 加古川リバーライト

2021年12月10日[金]-19日[日]

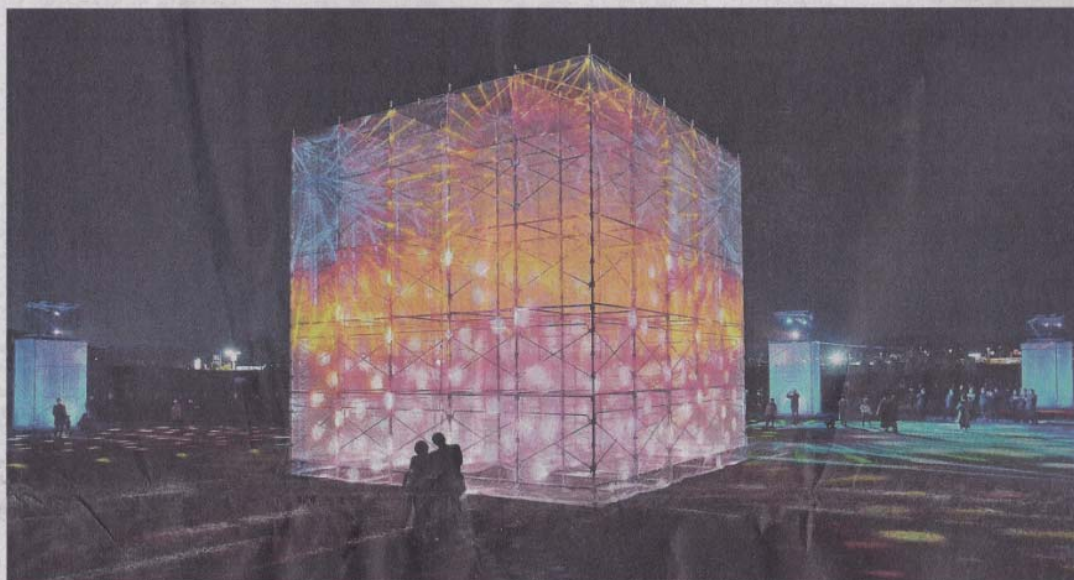
【開催時間】  
各日 18:00 - 21:00  
（開場は 17:30）

新型コロナウイルス  
感染症の拡大に伴い  
ご来場をお断りいたします。

※ 2021年12月10日（金）は、加古川市立体育館にて開催いたします。

加古川市観光協会

きらびやかな光で打ち上げ花火や川の流れを表現した映像作品＝9日夜、加古川左岸河川敷(撮影・笠原次郎)



## 光のアート 全身で感じて 加古川で今夜開幕



動画は  
コチラ

加古川市の伝統産業「国包<sup>こむすぶ</sup>建具」や川の流れ、打ち上げ花火をモチーフに、映像を屋外で投影する催し「加古川リバーライト」の内覧会が9日夜、同市の加古川左岸河川敷で開かれた。プロジェクションマッピングの技術を駆使し、幻想的な光が刻々と姿を変え、辺りはデジタルアートの世界に包まれた。10、19日に一般公開される。

新型コロナウイルス禍で花火大会やマラソン大会など大型イベントが相次いで中止となる中、市民らが楽しめる機会を設けようと同市が初めて企画。作品は、高さ約6層のやぐら8基に設置したプロジェクター計18台を使い、約10層四方の立方体と全長約100層の地面に映し出した。

映像の中に入って観賞でき、光との一体感も楽しめる。内覧会では、作品を手掛けた制作会社「ピクセルエンジン」(京都市)のクリエイティブディレクター山崎なしさん(36)が「広大な空間に入り込み、加古川らしさを全身で感じてほしい」と解説。カウントダウンで点灯した。

午後6～9時。入場無料。会場に駐車場は設けない。小雨決行。市観光振興課 ☎079・424・2190 (若林幹夫)